

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	電気製図Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0047		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義・実習		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	電気工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材	「電気製図入門」 大平典男・岡本裕生 著 (実教出版)						
担当教員	日高 良和						
到達目標							
①電気機器の図記号を正しく描くことができる。 ②単線接続図を正しく描くことができる。 ③複線接続図を正しく描くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	主要な電気機器の図記号を正しく描くことができ、機器の名称及び定格を正しく表示することができる。		主要な電気機器の図記号を正しく描くことができ、機器の名称を正しく表示することができる。		主要な電気機器の図記号を正しく描くことができない。		
評価項目2	製図道具を使用して、規定どおりの文字を使用して、単線接続図を正しく描くことができる。		製図道具を使用して、単線接続図を正しく描くことができる。		単線接続図を正しく描くことができない。		
評価項目3	製図道具を使用して、規定どおりの文字を使用して、複線接続図を正しく描くことができる。		製図道具を使用して、複線接続図を正しく描くことができる。		複線接続図を正しく描くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第2学期開講 電気技術者として電気図面の内容を理解できるように学習する。						
授業の進め方・方法	電気技術者として電気図面の内容を理解できるように解説と実習を行う。						
注意点	用意できる場合はコンパスと円のテンプレートを持参すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の進め方 電気図面の役割 電気用図記号		・授業のスケジュールと評価方法を説明できる。 ・業務による図面の役割について説明できる。 ・電気用図記号について説明できる。		
		2週	屋内配線図と屋内配線用図記号 分電盤の単線図と複線図		・屋内配線用図記号について説明できる。 ・分電盤について説明できる。		
		3週	点滅回路の単線図と複線図		・点滅回路について説明できる。		
		4週	電力機器と図記号		・電力機器の図記号について説明できる。		
		5週	キュービクル式高圧受電設備について		・自家用電気工作物のひとつであるキュービクル式高圧受電設備について説明できる。		
		6週	電気設備の単線結線図の作図		・キュービクル式高圧受電設備の単線接続図を作成できる。		
		7週	電気設備の複線結線図の作図		・キュービクル式高圧受電設備の複線接続図を作成できる。		
		8週	電気設備の複線結線図の作図		・キュービクル式高圧受電設備の複線接続図を作成できる。		
	2ndQ	9週	まとめ		・まとめを通じて重要な箇所を説明できる。		
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	製図作品	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0